



葉山町

議会だより

発行 葉山町議会 神奈川県三浦郡葉山町堀内2135番地 046-876-1111
編集 議会広報特別委員会 発行日 平成22年2月1日

No.

99

第4回（12月）定例会

- 第4回定例会関連記事…………… 3～5ページ
- 一般質問(12人登壇)…………… 6～11ページ
- 委員会レポート…………… 12～13ページ



議長ごあいさつ

議長 鈴木 道子



昨年、国政では2週間にわたり実施された「事業仕分け」が注目されました。

議論が荒っぽいのではないかと、その批判もありましたが、予算を公開の場で議論したことの功績は大きかったと思います。

みなさま、新たな決意でお正月を迎えられたことと存じます。

私も議員一同、4月からの任期最終年をひかえ、より一層の緊張感を持ち働いてまいりる所存でございます。

先月23日の「議会基本条例説明会」には、多数のお運びをいただきありがとうございました。ご意見等をまとめ、社会情勢を勘案し様々な機会をとらえ、議会に反映してまいりる所存でございます。

昨年、国政では2週間にわたり実施された「事業仕分け」が注目されました。議論が荒っぽいのではないかと、その批判もありましたが、予算を公開の場で議論したことの功績は大きかったと思います。今までの予算編成作業が密室の中で行われてきたことや、財務省のシーリング制に対して、査定能力の低下との声もありました。また、税金のムダづかいなど、行政監視をすべき国会の機能不全の面も指摘されたところでもあります。

議会でも「事業仕分け」の声が上がっております。はたして、葉山町の予算は劣化しているのでしょうか。議会改革の一貫として「事業仕分け」に臨むべきであると考えます。地方自治の根幹が議会制民主主義であり、議会が市民のみなさまの信託を受けた不可欠、重要な機関であることを再認識し、真摯な活動をしていく限り、私どもに対するみなさまの共感と信頼が得られるものと確信しております。

「葉山町議会基本条例」については、多くの他自治体からの視察を受けております。条例文に記載してありますように、議会は高い政治倫理に基づき、市民のみなさまの負託にお応えしていくことを決意し、この条例を制定いたしました。議員の責務として、自らの資質の向上に努めることも明記してあります。

議会を議員同士の実りある討論の場にする一層の努力と、審議能力を高め、専門性と迅速性を高めるために、「通年議会」や議会事務局の「議政局」への変更なども考慮した改革をさらに進めてまいります。

広い視野から、今まで様々な偏向史観のあった日本の近代史や、平和第一の政治社会秩序を目指したといわれるメッテルニヒにも学んでまいります。

この1年が、作物が豊富に実り、災害が無く、世界が平和であることとみなさまのご多幸とご健勝を心から、お祈りいたしております。

議会活動日誌

今回は、第3回定例会終了以降、第4回定例会終了までの活動報告をいたします。

22日	議会運営委員会	25日	ごみ問題特別委員会
26～27日	総務建設常任委員会	10日	議会運営委員会
30日	員会行政視察	30日	総務建設常任委員会
30日	員会行政視察	30日	本会議(定例会)
9～10日	広報特別委員会	30日	議会運営委員会
9～10日	教育民生常任委員会	11月	広報特別委員会
9日	員会行政視察	11月	
9日	高知県吾川郡町村議会視察来庁	1日	本会議(定例会)
12日	徳島県町村議会視察来庁	2日	本会議(定例会)
12日	会視察来庁	3日	議会運営委員会
12日	広報特別委員会	4日	総務建設常任委員会
13日	総務建設常任委員会	4日	教育民生常任委員会
13日	町村議会議員研修会	7日	議員定数及び報酬等
16日	ごみ問題特別委員会	7日	検討特別委員会
16日	議員定数及び報酬等	8日	ごみ問題特別委員会
17日	検討特別委員会	8日	生活排水処理に関する特別委員会
17日	全員協議会	10日	教育民生常任委員会
17日	広報特別委員会	10日	本会議(定例会)
17日	教育民生常任委員会		議員懇談会
20日	広報特別委員会		
20日	総務建設常任委員会		

第4回
12月

定例会

こんなことが決まりました



第4回定例会は、11月30日から12月10日まで開催しました。一般質問は12人の議員が登壇し、当面する行政課題をただしました。議案は葉山町一般会計補正予算をはじめ、一般職の職員の給与に関する条例等14件を審議しました。

◎専決処分の承認について(平成21年度葉山町一般会計補正予算(第4号))

全会一致で可決しました。

◎改正する条例

全会一致で可決しました。

◎教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

町長及び教育長の期末手当の支給率を年間4・40月から4・05月に改正するものです。賛成多数で可決しました。

◎平成21年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

◎平成21年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

◎平成21年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第2号)

◎平成21年度葉山町下水道事業特別会計補正予算(第2号)

各補正予算は全会一致で可決しました。

◎葉山町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を

◎指定管理者の指定について(葉山はばたき)

に年間4・50月から4・15月に改正するものです。賛成多数で可決しました。

◎改正する条例

国家公務員の改正に準じ

葉山町一般職員の期末手当等を、本年度下期以降

に年間4・50月から4・15月に改正するものです。賛成多数で可決しました。

◎葉山町一般職の職員の給与に関する条例及び葉山町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

◎人権擁護委員の推薦について

現委員 秋山満江氏の再任を求めるものです。全会一致で可決しました。

◎教育委員会委員の任命について

現委員 田中和子氏の後任として山崎勝美氏を任命するものです。全会一致で同意しました。

◎葉山町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

町議会議員の期末手当の支給率を年間4・40月から4・15月に引き下げるものです。賛成多数で可決しました。

補正質疑

問 子育て応援特別手当が廃止されたが、事務費等の持ち出しは。

保健福祉部長 実際の経費はかかっていない。

問 他の自治体では、満額支給や半額支給を独自で行うとの報道があった。また、財政調整基金の年度末残高5億円を確保できた中で、独自給付

問 逗葉地域医療センターの屋上防水工事費用は施工業者の責任では。保健福祉部長 瑕疵担保期間が過ぎている。

に考えが及ばなかったのか。

町長 他の子育て関連の事業が多々あるので、調整し検討する。町独自というのも考えたが、洗い出している予算との整合性を持たすため、今回はこのような補正を出した。

平成21年度補正予算

歳入歳出予算の総額

単位：千円

会計名	補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額	
一般会計	9,403,278	5,551	9,408,829	
特別会計	国民健康保険	3,575,950	△2,122	3,573,828
	後期高齢者医療	693,113	△4,060	689,053
	老人保健医療	34,654	0	34,654
	介護保険	2,283,119	△180	2,282,939
	下水道事業	1,632,160	△6,005	1,626,155
	小計	8,218,996	△12,367	8,206,629
合計	17,622,274	△6,816	17,615,458	

表 決 結 果

議案・請願・陳情	議員名（議席順）														結 果				
	畑中由喜子	近藤昇一	阿部勝雄	土佐洋子	山梨崇仁	伊東圭介	鈴木知一	佐野司郎	守屋巨弘	森勝美	伊藤友子	待寺真司	金崎ひさ	笠原俊一		加藤清	中村常光	鈴木道子	
議案 専決処分承認について (平成21年度葉山町一般会計補正予算(第4号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 平成21年度葉山町一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 平成21年度葉山町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 平成21年度葉山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 平成21年度葉山町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 平成21年度葉山町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 葉山町廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例及び葉山町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	× 討論	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案 葉山町一般職の職員の給与に関する条例及び葉山町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	×	× 討論	○	○	○	○	○	○	○ 討論	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案 指定管理者の指定について(葉山はばたき)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議案 人権擁護委員の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 葉山町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ 討論	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願 2010年度葉山町教育予算確保と教育条件整備を求める請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情 物価上昇に見合う年金引上げの陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳情 ごみ処理経費削減のための実効性ある具体策を早急に調査検討することを求める陳情書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳情 細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種化を求める国への意見書提出を求める陳情書	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	採択
陳情 中間支援組織「NPO法人葉山まちづくり協会」への業務委託の継続と拡充を願う陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
陳情 「保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書」を国に提出することを求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択

○は賛成 ×は反対 議長に表決権はありません。

みなさんからの 請願・陳情・要望のゆくえ

- ◎2010年度葉山町教育予算確保と教育条件整備を求める請願……………採 択
- ◎物価上昇に見合う年金引上げの陳情……………趣旨了承
- ◎ごみ処理経費削減のための実効性ある具体策を早急に調査検討することを求める陳情書……………趣旨了承
- ◎細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種化を求める国への意見書提出を求める陳情書……………採 択
- ◎中間支援組織「NPO法人葉山まちづくり協会」への業務委託の継続と拡充を願う陳情……………採 択
- ◎「保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書」を国に提出することを求める陳情……………採 択
- ◎神奈川県へ「食品表示制度の改正」を目指す意見書提出を求める陳情……………審議未了
- ◎「保険で良い歯科医療の実現を求める意見書」を国に提出することを求める陳情書……………取 下 げ

◆◆◆なお継続して審査します◆◆◆

- ◎葉山町議会議員の定数削減を求める請願
- ◎ごみ処理広域化を葉山町として直ちに実施することを求める請願書
- ◎国民健康保険料の見直しを求める請願
- ◎ごみの発生抑制、減量化、資源化を進める施策として「葉山町ゼロ・ウェイスト計画」の実施とその実施宣言を求める陳情
- ◎2市1町ごみ処理広域化と自区内処理の事業計画との比較を早急に町民に説明することを求める陳情書
- ◎「芝崎町内会共同浄化槽跡地を整備し公園に」に関する陳情書
- ◎重度障害者医療費助成制度の充実を求める陳情書
- ◎「芝崎の防波堤強化」に関する陳情書
- ◎新型インフルエンザ対策ならびに助成等の支援に関する陳情書
- ◎平成22年度における重度障害者医療費助成制度継続の陳情
- ◎し尿等下水道投入施設の再検討を求める陳情
- ◎し尿等希釈投入施設建設計画の再検討を求める陳情

地方自治法第99条の規定により意見書を提出しました

◎紙面の都合上、内容は要約させていただいております。

細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種化を求める意見書

細菌性髄膜炎の日本での患者数は、毎年約千人とも推定されている。その約6割強がインフルエンザ菌b型(ヒブ)、約3割が肺炎球菌で約9割を占める。

特にヒブの薬剤耐性化が進み治療も難しく、脳と神経に後遺症を引き起こしている。

ワクチン接種で予防でき、多くの国でワクチンの定期接種化で発症率が大幅に減少している。

わが国では、ヒブワクチンが販売開始されたが、任意接種で費用約3万円は自己負担で、早期の定期接種化が重要である。

肺炎球菌ワクチン、乳幼児ワクチン2種の接種で相当な自己負担となる。

これらのワクチン定期予防接種化で、発症抑止と医療費の削減に大きな効果が期待され、定期予防接種化が急がれる。

- 1 政府は下記の事項について特段の措置を講じるよう強く要望する。
 - 1 早期に細菌性髄膜炎の定期接種対象疾患に位置づけること。
 - 2 肺炎球菌ワクチンも、発売後速やかに定期接種化すること。

保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書

歯や口腔機能が健康、介護・療養上大きな役割を果たす。また、医療費抑制効果も実証されている。

安心して受診・治療できるよう、保険適用範囲の拡大と自己負担軽減を強く望んでいる。

歯科医療も診療報酬抑制され、経営も窮地に立たされている。

この事態は、国民の健康保持に支障をきたし、医療費節減に逆行する。よって政府に、次の事項を強く要望する。

- 1 患者窓口負担を軽減すること。
- 2 歯科医療費崩壊をくい止めるために、国の負担を増やし、歯科医療費総枠を拡大すること。

2件ともに提出先

衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・
総務大臣・財務大臣・厚生労働大臣



質問

いっばん

質問者の提出原稿を基に編集しています

加藤 清

観光施策について 町長 引き続き葉山ブランドを



であり、地道なPRが大
公団のサービスエリア等
でも配布している。

問 三浦半島地区の観光
協会でパンフレットをつ
くり、地区内で配布して
いるが、他の地域での配
布は行っているか。

問 観光客の増の施策を
御用邸を通して宮
内庁と相談になるが、御
用邸の一定地域までの一
般開放などを考え、町の
イメージを発信し、PR
することである。

問 御殿場市内のホテル
でイルミネーションを飾
り、観光客を集めている。
当町でも行う考えがある
かを伺う。

問 観光施策についてを
伺う。

町長 大変答えに困る質
問だが、葉山ブランドを
引き続きだすことが必要
京急、JR等の駅、道路

町長 具体的な影響につ
いては、明確になってい
ない。しかしながら、制
度の廃止や一般財源化等
も予想されることから、
所管省庁や県等からの情
報収集に努め、予算編成
に反映させていく。

町長 観光客を集めるため
の、催し物やイベントを
行う考えは持っているか。
町長 三浦半島『まるご
と博物館』と一体となつ
て自然を満喫してもらう
運動もある。

町長 元気な町というも
のは大事であり、柔軟性
を持つて考えていきたい。
問 鉄道会社に提携や往
復割引などを行う、協力



伊東圭介

国の予算編成に関する葉山町の影響は 町長 現時点においては明確になってない



問 国の予算編成におけ
る地方財政措置や税制改
正の動向は、不確定な部
分が多く、本町の予算編
成にも影響があると思っ
が。

町長 問題になるのは、ワクチ
ンの優先接種の件であ
る。本町の優先接種対象
者は、1万5000人で
あり、県や逗葉医師会と
調整する。

問 現在までの小・中学
校における学級閉鎖等の
状況について伺う。

問 中学3年の受験生に
対するワクチンの優先接
種の前倒しは。

問 今後の新型インフル
エンザ対策について伺う。

問 新型インフルエンザ
の流行が、国民健康保険
や小児医療費助成制度に
影響が表れているか。

問 閉鎖もしくは学年閉鎖、
また、中学校1校が休校

問 授業の回復措置は。
教育長 9月の校長会で
要請をして、10月・11月
で授業回復措置をとって
おり、見込みが立ってい
る。

保健福祉部長 これから

保健福祉部長 国保につ

教育長 小・中学校合わ
せて延べ69クラスが学級
閉鎖もしくは学年閉鎖、

教育長 早速、県教委に
要望として働きかけてい
く。



早期復旧が望まれる森戸海岸北トイレ

伊藤友子

公開の場で事業仕分けを
町長 23年度以降の検討課題としたい



問 当町の事業を根本的に見直すために、外部の目を入れて公開で行う事業仕分けの導入はどうか。
町長 23年度以降の検討課題としたい。
問 財政危機を乗り切

り、職員がやる気を出すために、町長の姿勢を示す必要がある。率先垂範、随より始めよ、公約とは別に報酬を20〜25%引き下げてはどうか。

町長 財政的な面から自らの給与を一昨年11月から10%カットを、副町長は置かないことでやってきた。町政もいろいろ町長もいろいろだ。

問 台風18号のとき、10月8日午前7時20分の災害対策本部の設置は遅くはなかったか。
町長 前日、警戒本部を設置した。災害対策本部設置の時間は適切であった。
問 津波ハザードマップのような高潮、高波に対



土佐洋子

町の防災対策は
町長 長期展望として対応を図る

問 まちづくり協会は22年度以降も存続することになったが、今後について。
町長 協会とは協働事業で、さらなる協力関係を築いていく。10年間積み上げた知的財産は町の重

要な資産。その保管や活用は協議をしていきたい。
問 地産地消の進捗状況とPR誌の発行を。
町長 葉山の特産品の開発の情報交換や朝市の新規参入農家のため、町と農業委員会、よこすか農協はじめ5者が集まって、葉山町営農推進会議を10月に開催した。今後PR誌の発行も考えていく。

慮する今後の対策は。
消防長 津波と違って、まだハザードマップを出す段階までの研究には至っていない。
問 芝崎の防波堤の安全確保についての考えは。

問 子ども会の現状は。単位子ども会が増えている。育成連絡協議会に入するよう働きかけを。
町長 現在17団体の子ども会があり、1団体に1人当たり700円の助成を行っている。17団体のうち4団体が町子連に加入している。子どもたちの地域での活動に、今後も支援・研究していきたい。

問 芝崎の防波堤の安全確保についての考えは。
町長 越波対策として、海岸保全区域にするよう県と協議している。高潮については、国・県・町の3者で行わなければできない大きなもの。
問 ポンツーンや駐車場

が利用できる状態の葉山新港への対応は。
都市経済部長 神奈川県が十分認識しながら復旧に努めていると聞いている。
問 台風被害で使えない状態の森戸海岸北公衆トイレの対応は。

問 戦没者慰霊祭での町長の挨拶の言葉は適切でないかと考えているか。
町長 十分注意してきたつもりだが、これからも一層気を付けていきたい。

問 町長の言動や行動は町代表として恥ずかしいと考えているか。
町長 指摘を受けて全く恥ずかしい。巻紙を自分で作ったのではないので、読んでおく必要があったと反省している。



他自治体の仕分けの状況 (大磯町より写真提供)

阿部勝雄

約束の小児医療費助成はいつか

町長 予算査定、町長査定で方向を出す



消は。

町長 葉山保育園の定員増。子育て支援センターや民間保育所と連携し、待機児童解消に努める。

問 まちづくり協会に何を委託するのか。

総務部長 総合支援、調査研究、管理業務の3つ。

町長 現在検討中で、予算全体を見て、予算査定、町長査定で方向を出す。

問 3歳ぐらい上げたいと約束した小児医療費助成制度の拡大はいつか。

町長 「広報」と連動させ

コストダウンを図る。

問 多くの人が利用できる場所は。

町長 今の場所を協会と一緒に使うよう明示する。

問 国保料が逗子市等と比較で1〜2万円も高い。

待寺真司

三浦半島消防広域化に対する決断の時期では

町長 任意協議会の位置づけを見極めて決定する



町長 財政が厳しく、一般会計繰入金難しい。町長 会計制度は独立採算だが、必要な場合は、独立採算とする国保政策を転換して近隣に近づけるべきだ。

町長 財政状況が厳しく継続的繰入れは難しい。町長 横須賀市や三浦市同様に条例に金額を明示すべきだ。

問 逗子市は10年間始ど変わらない。町は平成17年から急上昇して2万円も高くなった。原因は独立採算としてのことだ。

町長 一つの方法と思う。考えた。他に「事業仕分け」で下水道への影響

だ。デメリットは他管轄への消防隊・救急隊の出場回数の増加がある。問 小さな自治体ほど、財政的な負担が厳しくなるとの事例もあるが。

町長 最優先は町民の安心・安全である。機動力を発揮して有機的な広域化が、可能かどうかが審議の第1になる。それに付随して財政の問題は各自治体に関心を持つので、協議会等の会合の報告を

早急に連絡会議なり開催

問 消防広域化のメリット・デメリットの認識は。町長 災害発生時における初動体制の強化、町境の現場到達時間の短縮、高度な資機材の計画的な整備、現場活動要員の増強、救急用具や予防業務の高度化などがメリット



葉山保育園給食風景

高規格救急車内部



し顔合わせをして欲しい。消防長 機会あるごとに防災士の活動を町民に広めて、研修・試験を受けて合格された後に、登録をしていただく形をとる。町長 実現の方向で進める。

その他 AEDの不具合への対応・12億円もの収支不足への対応・町長は選挙公約をなんと心得ているのかについてなど。



クリーンセンター作業状況

畑中由喜子

円滑かつ間違いない町政運営のために副町長を置くつもりはないか
 町長 早い時期にしかるべき人選を考える必要があると思っている



問 副町長を置かないと言ふ公約だが、今後これまでの方針を見直し、円滑かつ間違いない町政運営のために副町長を置くつもりはないか。
町長 意思決定の迅速化

と行政コストの軽減を実現させるねらいがあり、一定の効果が得られたと思うが、幾つかの問題点が見直さなかつたのも事実で、組織のあり方をも一度根本的に見直していく考えである。

問 副町長のポストの重要性を考えると、この時点で何とかご決断をいただくべきではないか。

町長 政治は生き物としひしと感じている。町民の幸せにつながることを視点からマニフェストを見直す柔軟な発想も必要という考えに至っており、非常に大事な人選に

金崎ひさ

ごみ関連の人件費は
 生活環境部長 3億円



問 消防職員は47人であるが、クリーンセンター職員数は。
生活環境部長 アルバイトをいれて50人弱。
問 更に、収集委託費はほとんどが人件費であるが、委託ではなく町職員でできることはないのか。

問 消防職員は47人であるが、クリーンセンター職員数は。
町長 来年度、大きな変動はしない。
問 町関連施設から出る生ごみをゼロにするための来年度予算措置は。
生活環境部長 具体化されていらない。
問 水質浄化のため、市街化区域の下水道認可区

生活環境部長 23年の収集方法の変更に合わせて検討する。
問 経費削減には人件費等の見直しが必須では。
町長 市街化区域を公共下水道一辺倒でいくと考

問 市街化調整区域の合併処理浄化槽設置は管理等の書類をつけて補助金申請が行われている。申請時のみではなく、毎年、保守点検等の管理を強力に義務づけるべきだ。
生活環境部長 今後は保

なると感じている。ある程度絞れたところで、議会の皆様にも相談しながら検討していきたい。
問 保育園の待機児童解消に向けた対応策は。
保健福祉部長 解消に向け、町長指示で土地を提供して民間に建設の運営をゆだねる等、6つの方法を検討したが、時間的、財政的問題から葉山保育

園の定員を増大するのが一番という結論を得た。
問 教育と子育て日本一の町を目指す公約されたのだから、重点的な予算配分が今こそ必要では。
町長 子育ては優先度の高い分野であり予算査定の中で明確になると思う。
その他の質問 ごみ問題について。インフルエンザ対策について。

全協会と連携し、義務等の周知を図っていきたい。
問 障害手帳所有の幼児が私立幼稚園に受け入れられた場合、園に対し補助金が年間13万円支給される。健康な子供たちとの交流を促進するため、手帳の有無ではなく、たんぽぽ教室関連幼児に補助対象を広げるべきだ。
教育長 中期的に検討させていただきたい。



空いたままの副町長席



田んぼだった耕作放棄地

山梨崇仁

可燃・不燃のごみ種別がナンセンスだ
生活環境部長 今後、分かりやすいものにする



加わる必要も感じつつ、その位置付けなど、よく確認して前向きにいく。

問 9月定例会で指摘した、保育園、学校での生

問 ごみ処理は進んでいるか。

保健福祉部長 議員の指

摘を受けて、保育園の菜

園で堆肥化し、野菜を育

てる土として園児への保

育にも活用している。

教育長 定例会以降、生

ごみの乾燥に努め、水分量の減量化を図るよう促している。

問 ごみステーションや

ごみの出し方の説明冊子

では、可燃・不燃という

大別から入るため、資源

データに基づいて、成果

として伺う。

森 勝美

療養型施設の入所者に介護保険の適用は
保健福祉部長 国民健康保険から支援金を出している

化・減量化を促すゼロ・ウェイストの方針と矛盾した点があるが。

生活環境部長 今後、分

かりやすいものに変えて

いきたい。

問 最新の資料によれ

ば、平成21年度のごみ量

は減っていない。どのよ

うに考え、見直すのか。

町長 1年ごとぐらいの

データに基づいて、成果

として伺う。

問 農業委員会、農協の

農業活性化方針は。

都市経済部長 営農の推

進委員会で上山口支部長

が中心になり、農協、県

農業技術センターが安定

供給できる品目の研究中。

問 学校での地産地消学

習の取り組みは。

教育長 学校給食に地元

のわかめ、キャベツを食

材に取り入れ、一色小、

葉山小も水田をお借りし

指導を受けながら収穫

チェックが必要であると。

問 協働を進める上で町

長が積極的にコミュニケーションを図ることが大

事だ。葉山には有能・優

秀な人材が多々いる。そ

ういった方々の力を活用

するということも、町の

大きな活性につながる。

町長 大変すばらしい考

え方であり、貴重な意見

として伺う。

問 介護保険制度開始か

ら10年目、利用状況は。

町長 第一被保険者88

65人の13・3%が認定

を受けている。

問 医療的ケアが必要な

高齢者が介護型、又は療

養型施設に入所中の介護

保険の適用は。

保健福祉部長 介護型は

介護保険で、療養病床型

は国保から支援金を出す。

問 学校給食の残渣の資

源化減量化の進捗状況は。

教育長 栄養士部会で残

渣の水切りをし、小学校

では給食を残さず食べる

よう指導している。

問 栄養士部会だけでなく

校長先生にも働きかけ

をしスムーズに進めるべ

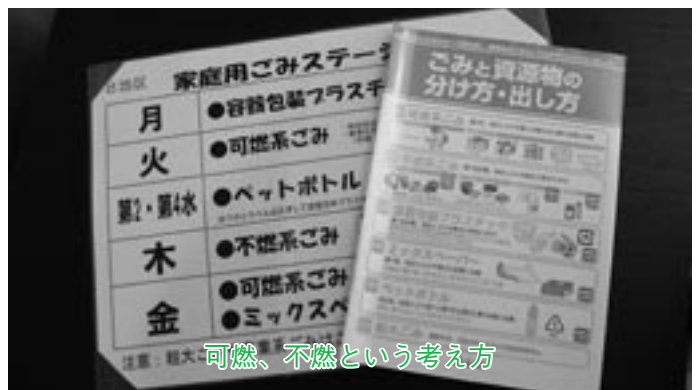
きでは。

教育部長 定例の課長会

に環境課からのアナウン

スがあるのを学校教育課

は待っている状況だ。



可燃、不燃という考え方

近藤昇一

住民に川久保バス停の説明をすべきでは
町長 この問題に限っての説明会をしたい



問 長柄地域におけるバス設置とバス路線について、これまでどのような対応がなされてきたのか。また、今後の見通しについて伺う。

町長 残念ながら、京急の説明会をした。京急は採算ベースに

バスとの間で、具体的な進展は見られていない。現在、長柄大山地区へのアンケート調査の準備を進めている。

問 いつ実施するのか。
総務部長 2月頃になる。

問 地元住民へ説明を行うべきでは。

町長 この問題に限っての説明会をしたい。



守屋亘弘

技能労務職員の給与の見直しは
町長 見直しする



ロセスが重要では。
町長 町民と協働作業でつくっていくプロセスが大事。準備会に1年、23年度には条例制定したい。

町長 2年間の情勢の変化も踏まえて、年度末までに、マネフェストの実施状況、見直し等を説明できるよう準備したい。



問 新聞情報では横須賀市の吉田市長が、民間に比べ高額の技能労務職員の給与につき見直す意向を固めたところ。本町の技能労務職員数は。

町長 平成21年12月現在、清掃作業員29人、学校給食員8人、庁務作業

町長 技能労務職の職種と民間の職種は、年齢や

町長 雇用形態等の面で、完全とあわせ、技能労務職員の給与も総合的な点検、見直しを行い、時代に合った給与制度運用となるよう取り組む。

問 し尿等希釈投入施設建設工事費の資金手当ては。

町長 平成20年地方公務員給与実態調査結果の概要では官と民間の給与格差が激しい職種として官と民間とでその差は清掃職員1.4倍、学校給食員1.3倍となっている。本町の場合はその見直しの必要性について。

町長 技能労務職の職種と民間の職種は、年齢や

町長 雇用形態等の面で、完全とあわせ、技能労務職員の給与も総合的な点検、見直しを行い、時代に合った給与制度運用となるよう取り組む。

町長 し尿等希釈投入施設建設工事費の資金手当ては。

町長 雇用形態等の面で、完全とあわせ、技能労務職員の給与も総合的な点検、見直しを行い、時代に合った給与制度運用となるよう取り組む。

町長 雇用形態等の面で、完全とあわせ、技能労務職員の給与も総合的な点検、見直しを行い、時代に合った給与制度運用となるよう取り組む。

委員会 レポート

委員長の提出原稿を基に編集しています

総務建設

中間支援組織「NPO 法人葉山まちづくり協 会」への業務委託の継続 と拡充を願う陳情

この陳情の要旨は、「NPO法人葉山まちづくり協会」への町からの業務委託は、今年度で打ち切りとなり、町長自らが口にした検討委員会も未だに設置されず、今後のまちづくり活動のありかたは不確定である。よって、町へ「NPO法人葉山まちづくり協会」への業務委託の継続、活動拠点である「まちづくり館」の存続、「NPO法人葉山まちづくり協会」の運営手

法と協働態勢の強化を求めているものです。

町長質疑の中で、委員から「まちづくり協会の役割は従前と同じではない。前町長の施策であった『くれ竹の郷葉山構想』とは一線を画すならば、森町長の新しい考えに基づいた町民との協働の事業として位置づけ、新たな施策の予算として取り組むべきであり、議会だけでなく町民にも明確に説明する義務がある。」

「町長の発言が今日までの間に紆余曲折があったので、陳謝するところは陳謝し、訂正するところは訂正すべき。」などの厳しい意見がありました。陳情の趣旨は、大いに理解・賛同できるもので、全会一致により、採択すべきものと決しました。

委員 伊藤友子

教育民生

二〇一〇年度の葉山町 教育予算確保と教育条件 整備を求める請願

教育予算の現行水準の維持、教育総合プラン実現の予算措置、学校栄養職員の配置の3点を求める請願は紹介議員10人を添えて提出されました。審査では、教育委員会

として、今年度を下回らないよう配慮した予算編成を考えていること、栄養職員の配置も検討しているなど、ほぼ願意は図られているとして全会一致で可決すべきものと決しました。

物価上昇に見合う年金 引き上げの陳情

審査の中、伊藤委員から「生活支援金」として8万円の積み増しを求めているものです。審査では、経済がデフレ状態で、陳情と異なるが無年金や低年金者に適切な対策をとる必要性はあるとして、全会一致で趣旨了承とした。

細菌性髄膜炎を予防する ワクチンの早期定期予 防接種化を求める国への 意見書提出を求める陳情 書

細菌性髄膜炎の患者が毎年千名にもなり、ヒブ菌や肺炎球菌などによるものが90%にも及ぶ。この疾病はワクチン接種で予防が可能で、多くの諸外国はワクチンを認証し、実績も上がっている。日本での、任意接種の費用は髄膜炎ワクチンが3万円で、更に肺炎球菌も含めれば多額の費用がかかる。国で早急に認証し、定期接種対象疾患に位置付けることを求めているものです。

保険でより良い歯科医 療の実現を求める意見書 を国に提出することを求 める陳情書

患者の窓口負担が増え、受診を控える人も多くなる一方、診療報酬も引き下げられ、患者も医療機関も窮地に立たされています。口腔機能が健康に役立つことは証明されており、患者負担を増やすことなく保険でよりよい歯科医療が受けられるよう歯科医療費総枠の国負担を求めているものです。審査では、歯の大切さは8020運動などで実証されている。19年にも同趣旨の陳情を採択して



日光への小学校修学旅行

委員 阿部勝雄

所管事項調査

○「はばたき」の指定管理継続委託の説明。

○下水道処理施設の第3系列目処理槽工事の進捗状況現地踏査。

議会運営

10月22日 平成22年度

議会予算についての概算要求を議論し、21年度比マイナス2万4千円（議員報酬及び人件費を除く）で概算要求することになりました。

「議会基本条例」の説明のための意見交換会の日程を調整し、22年1月23日（土）に開催することとしました。

10月25日 議会第3回定例会の運営について議論し、日程を11月30日から12月11日までの12日間と決定しました。

「議会基本条例」の説明



のための意見交換会のお知らせと役割分担について議論しました。

11月30日 陳情書が提出され、最終日に日程追加することとしました。

12月3日 「議会基本条例」の説明のための意見交換会の進め方、資料配布について議論しました。

今後の懸案事項として、常任委員会及び議会運営委員会の任期を条例化すること、先例集の見直し、議員全員協議会の公開について、議員研修会について等を確認しました。

委員長 近藤昇一

ごみ問題特別

「ごみ処理経費削減のための実効性ある具体策を早急に調査検討する事を求める陳情書」

平成21年9月から継続審査となっておりましたが、11月の審査において、経費削減は議会としても当然考えていかなければならない重要な問題である

り、早急に解決すべき課題である。財政状況を考慮し、議会として町へ提言することの趣旨は理解できるとの意見があら

また、陳情書の中に「葉山町の財政状況は理念や主義主張にこだわることには許されない」など、一部理解しがたい部分があり、内容全てを認めることはできないとの意見も出されましたが、全会一致で趣旨了承すべきものと決しました。

その他の請願と陳情は継続審査となっております。

なお、委員会開催時には必ず、所管事項調査として、ごみ行政についての報告を受け、質疑と提案を行っております。

委員長 金崎ひさ

議員定数及び報酬等検討特別

11月16日 請願第21号「葉山町議会議員の定数削減を求める請願」

の継続審査を確認した。議員の期末手当の削減について議論をした。職員の間支給率と同等にする条例改正案を本会議に提案することを、賛成多数で決定した。

12月7日 前記の請願について、継続審査を確認した。議員定数と報酬について、委員全員から意見を出し合った。次回委員会での意見を整理し、前述請願の採決と議員定数削減についての議論の終結を目指すことになった。

委員会は、昨年6月29日に新たに設置された特別委員会で、葉山町における公共下水道計画に基つき、計画決定している622鈔の整備を進めておりますが、昨今の経済情勢や町の財政事情により、なかなか整備のスピードが上がらないのが現実です。

そのため、これまでに認可区域として認定されている350鈔以外の地域における、生活排水処理に関して、どのような手法で行うのが良いのか、また、一日も早く葉山の河川の浄化をすすめていくのが、大きな課題となっております。

そこで、スピーディーにローコストでクリーンな水環境の整備を推進するための方策を議会でも調査・研究し、提言するために委員会を開催して参ります。

委員長 佐野司郎

生活排水処理に関する特別

8月6日の議会閉会中に、10月1日は議会休会中に、さらに12月8日も議会休会中に委員会を開催し、様々な課題について調査を行いました。12月8日の会議では、実際に町中の河川の汚濁状況を調査しました。当日は、下水道課・環境課職員同行のもと、水の透明度や臭いなど5箇所サンプルリングを行い、それぞれの場所での、現在の下水道の整備状況等確認しながら、職員との質疑応答を行い現状の認識を深めました。

調査を行いました。12月8日の会議では、実際に町中の河川の汚濁状況を調査しました。当日は、下水道課・環境課職員同行のもと、水の透明度や臭いなど5箇所サンプルリングを行い、それぞれの場所での、現在の下水道の整備状況等確認しながら、職員との質疑応答を行い現状の認識を深めました。

とを目的としております。現在、町では公共下水道計画に基つき、計画決定している622鈔の整備を進めておりますが、昨今の経済情勢や町の財政事情により、なかなか整備のスピードが上がらないのが現実です。

そのため、これまでに認可区域として認定されている350鈔以外の地域における、生活排水処理に関して、どのような手法で行うのが良いのか、また、一日も早く葉山の河川の浄化をすすめていくのが、大きな課題となっております。

そこで、スピーディーにローコストでクリーンな水環境の整備を推進するための方策を議会でも調査・研究し、提言するために委員会を開催して参ります。

委員会は、昨年6月29日に新たに設置された特別委員会で、葉山町における公共下水道計画に基つき、計画決定している622鈔の整備を進めておりますが、昨今の経済情勢や町の財政事情により、なかなか整備のスピードが上がらないのが現実です。

委員長 待寺真司

川の水質 現地踏査(図書館付近)

調査を行いました。12月8日の会議では、実際に町中の河川の汚濁状況を調査しました。当日は、下水道課・環境課職員同行のもと、水の透明度や臭いなど5箇所サンプルリングを行い、それぞれの場所での、現在の下水道の整備状況等確認しながら、職員との質疑応答を行い現状の認識を深めました。



総務建設常任委員会行政視察報告

視察日

平成21年10月26日(月)

～10月27日(火)

視察地及び視察目的

①石川県河北郡内灘町

「自治基本条例の取組みについて」

「観光行政の取組みについて」

②石川県輪島市

「地産地消について」

「防災(地震)対策について」

視察概要

視察第1日目に訪問した内灘町は能登半島の付け根に位置し、漁業主流の寒村から、昭和33年後、河北潟の埋め立てによる農業の振興及び砂丘地の宅地開発が奏功し、隣接する金沢市のベッドタウンとして発展してきた人口約2万6千7百人のまちです。視察項目については、まちづくり政策部長、産業振興課長から説明を受けました。

自治基本条例制定への

取り組みについては、地方分権が進む中、自分たちの将来像を自分たち自身で描く地域の個性を活かしたまちづくりを行っています。

自己責任と自己決定に基づく自治体運営の必要性から、(1)住民自治の充実を図る基本自治、(2)自立性を明確化するルール、(3)参加、協働の基本ルールの3点

を条例策定のコンセプトと位置づけ、町民に対し協働のまちづくりを啓発、醸成した上で平成23年度を目標に町民手作りの策定を目指しているものです。協働、まちづくりの意識啓発の具体的取り組みとしては、タウンミーティング、各種団体の支援育成、時代に即したテーマ設定によるまちづくり町民塾の開催、男女共同参画行動計画、男女共同



参画まちづくり条例の制定などを行っており、今は、能登半島の北西に位置し、日本海の沖合いから陸へ吹く北からの爽快な風「あいの風」をまちづくりのキーワードとして「あいの風が育む快適・活気・夢のまち」を将来像に掲げ、誰もが生活と心の豊かさを実感し夢と希望のまちづくりを目指す人口約3万2千5百人のまちです。

「恋人の聖地」に認定され、これを契機としてボラティアによる砂丘の復元、世界の風の祭典の拡充、全国初のビーチベイスポール大会の開催など、集客のための施策展開を進めていくとのことです。視察2日目(10月27日)に訪れた輪島市は、能登半島の北西に位置し、日本海の沖合いから陸へ吹く北からの爽快な風「あいの風」をまちづくりのキーワードとして「あいの風が育む快適・活気・夢のまち」を将来像に掲げ、誰もが生活と心の豊かさを実感し夢と希望のまちづくりを目指す人口約3万2千5百人のまちです。

「サンセットブリッジ内」は、平成21年4月1日以内に

農林水産担当から、防災対策については総務部防災担当から説明を受けました。能登半島沖地震の教訓を主体に説明を受けました。

平成16年度からは、小中学校給食の週4回の米飯給食に輪島産コシヒカカリを使用し、今年度から毎月19日を「地産地消の日」と定め一品以上の輪島産品を使用しています。また、市内建設業者が、急速冷凍機を導入し魚の加工品の製造を開始したため、課題となっていた魚類の輪島産品の給食供給も可能となったとのこと。保育所に関しては、米飯は全て輪島産を使用し、野菜類も地元産の規格外品の使用を検討しています。

一食当たりの単価、規格の統一等課題は多いものの今後、「輪産・輪食」を合言葉にケーブルテレビでの取り組みの周知、事業者の採算性の確保等知恵を絞りながら普及に取り組んで行きたいとの



輪島市にて

表紙説明



1月10日(日)、新春恒例の消防出初式が執り行なわれました。

当日は晴天のもと、有馬消防長以下消防本部職員47人並びに石井定裕消防団長以下消防団員184人が参加しました。有馬消防長は、「本年も安全・安心なまちを目指して、より一層職務に励みたい」と力強く語っております。

私たちも、町民のみなさんとともに、安全・安心のまちづくりに更なる努力をいたします。

平成22年 第1回定例会は 2月19日(金) からの予定です。

皆様の傍聴をお待ちしています。

<http://www.town.hayama.lg.jp/gikai>

町長行政報告 (1千万円以上 5千万円未満の契約)



の顔色よりも沖縄住民の声を尊重して基本から見直すべき等々、いろんな声がかかる。

①葉山処理区(堀内)枝線築造工事(その1) 2751万円
電車への広告に「初志貫徹か臨機応変か、政治にどちらが必要か」とあった。私は臨機応変を支持した。進められている。政府民主党は「マニフェスト」とばかり、多くの人が増税となる「子ども手当」や「高速道路無料化」などを押し通そうとする反面、普天間基地移転問題などアメリカに物も言えず右往左往している。国民は「マニフェスト」を全て認めたわけではないのだから、「選挙公約」とばかり初志貫徹せず、現状を注視し見直す勇気がほしい。

②葉山処理区(一色)枝線築造工事(その2) 2604万円
いま、国家予算編成が進められている。政府民主党は「マニフェスト」とばかり、多くの人が増税となる「子ども手当」や「高速道路無料化」などを押し通そうとする反面、普天間基地移転問題などアメリカに物も言えず右往左往している。国民は「マニフェスト」を全て認めたわけではないのだから、「選挙公約」とばかり初志貫徹せず、現状を注視し見直す勇気がほしい。

③クリーンセンター2、4号炉天井プラスチック耐火物補修/1、4号炉後燃焼段差部耐火物補修工事 1134万円
多岐の住民が賛成なら責められないだろう。多数が望むものを先送りする「公約違反」は認められないが臨機応変に見直す勇気もほしい。平成21年12月 阿部勝雄

④葉桜緑地崩落対策工事 3374万円
多岐の住民が賛成なら責められないだろう。多数が望むものを先送りする「公約違反」は認められないが臨機応変に見直す勇気もほしい。平成21年12月 阿部勝雄

⑤庁舎空調設備改修工事 1302万円
多岐の住民が賛成なら責められないだろう。多数が望むものを先送りする「公約違反」は認められないが臨機応変に見直す勇気もほしい。平成21年12月 阿部勝雄

⑥葉山処理区(一色)枝線築造工事(その3) 1241万円
多岐の住民が賛成なら責められないだろう。多数が望むものを先送りする「公約違反」は認められないが臨機応変に見直す勇気もほしい。平成21年12月 阿部勝雄

⑦葉山処理区(一色)枝線築造工事(その4) 1166万円
多岐の住民が賛成なら責められないだろう。多数が望むものを先送りする「公約違反」は認められないが臨機応変に見直す勇気もほしい。平成21年12月 阿部勝雄

⑧都市計画道路五ツ合森戸線道路整備工事 1974万円
多岐の住民が賛成なら責められないだろう。多数が望むものを先送りする「公約違反」は認められないが臨機応変に見直す勇気もほしい。平成21年12月 阿部勝雄

⑨一色海岸公衆トイレ改修工事 2940万円
多岐の住民が賛成なら責められないだろう。多数が望むものを先送りする「公約違反」は認められないが臨機応変に見直す勇気もほしい。平成21年12月 阿部勝雄

普天間問題はアメリカ加藤清

議長 鈴木道子

議会広報特別委員会

守屋亘弘

阿部勝雄

森 勝美

加藤 清

「選挙公約」は自治体とも同じ。即、実行すべきものもあるが、実施前に、住民の声も聞きながら更に検討を加えるべきものもあるだろう。

ほとんどの人が「選挙公約」全て認められたとは限らないのだから。

住民の声を聞いて、多くが望む方向に「選挙公約」を変えたとしても、

多岐の住民が賛成なら責められないだろう。

多数が望むものを先送りする「公約違反」は認められないが臨機応変に見直す勇気もほしい。

平成21年12月 阿部勝雄

鈴木道子

阿部勝雄

阿部勝雄

阿部勝雄

阿部勝雄

阿部勝雄

阿部勝雄

阿部勝雄

阿部勝雄

阿部勝雄

阿部勝雄

阿部勝雄

阿部勝雄

阿部勝雄

阿部勝雄

阿部勝雄

阿部勝雄

阿部勝雄

阿部勝雄

阿部勝雄

阿部勝雄